

休泊川流域水害対策計画の概要

[計画作成主体]

群馬県、太田市、千代田町、大泉町、国土交通省関東地方整備局

[計画期間]

概ね20年間

[計画区域]

休泊川特定都市河川流域

[計画対象降雨]

令和元年10月降雨（流域平均2日雨量約250mm）

[浸水被害対策の目標]

流域全体での対策により床上浸水の解消及び床下浸水の軽減

[主な浸水被害対策]

①氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策

河道整備、雨水貯留浸透施設の整備、排水機場の増強、貯留機能保全区域の指定 等



休泊川の河道整備の前後比較

②被害対象を減少させるための対策

浸水被害防止区域の指定、立地適正化計画（防災指針）の活用による適切な居住誘導及び土地利用規制の厳格化、多段階の浸水想定図や水害リスクマップの作成 等

③被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

ハザードマップの周知、避難訓練の実施、防災教育の推進、洪水時の河川情報の充実、マイ・タイムラインの作成促進 等



マイ・タイムライン作成講習会

[都市浸水想定]

対象降雨が生じた場合に、洪水または雨水出水による浸水が想定される区域及び浸水した場合に想定される水深を示す

